

2021年4月1日

一般社団法人日本独文学会 2021年度事業計画書

一般社団法人日本独文学会は2021年度に次の事業を行うことを計画している。

1. 春季研究発表会および秋季研究発表会の開催
 - ・ 2021年6月5日および6日に、東京大学の担当で春季研究発表会をオンラインで開催する。
 - ・ 2021年10月2日および3日に、東北大学川内南キャンパスで秋季研究発表会を開催する。
 - ・
2. 機関誌 „Neue Beiträge zur Germanistik“ の発行
 - ・ 刊行の遅れた162号（混合誌、特集テーマは「日本における『外国語としてのドイツ語（DaF）』—教育実践と教育研究の新たな方向性」）を発行する。引き続き163号（国際誌、特集テーマは „Österreichforschung in Japan“）および164号（混合誌、特集テーマは「技術／テクノロジー」）を編集・発行をする。
3. 文化ゼミナール・語学ゼミナール・教授法ゼミナールの開催及びその記録論集の発行
 - ・ 第48回語学ゼミナールを2021年8月31日（火）から9月3日（金）の日程で京都市において開催する。また、語学ゼミナール・オンライン 2020 の論集 „Linguisten-Seminar : Forum japanisch-germanistischer Sprachforschung“第4号を編集し、J-Stage で公開する。
 - ・ 第62回文化ゼミナールを2022年3月に開催する。
 - ・ 第26回教授法ゼミナールを2022年3月に開催する。
4. ドイツ語教員養成・研修講座の実施
 - ・ ドイツ語教育部会、東京ドイツ文化センターとの共催で開催している「ドイツ語教員養成・研修講座」を2020年度に引き続き実施する。
5. 日本独文学会・DAAD賞の授与
 - ・ 第19回日本独文学会・DAAD賞の選考を行う。授賞式は2022年春季研究発表会において行う。
6. 日本独文学会研究叢書の発行（ウェブサイトによる電子出版）
 - ・ 日本独文学会研究叢書を学会HPにおける電子出版の形で公開する。

7. その他のドイツ語, ドイツ文学及びドイツ語教育の研究及び普及に資する事業
- ・ 「日本独文学会岩崎基金」を用いた若手研究者の研究成果公開のための出版助成を行う。
 - ・ ドイツ語論文執筆ワークショップを11月に開催する。